

## 令和6年度 第Ⅱ期 実習報告書のまとめ

山梨県薬剤師会  
薬学生受入対策委員会

### ① 感想

- 服薬指導を積極的に行うことができました。合計で100人以上は行うことができたので良かったです。実習生の態度も問題なく無事に11週間を終了できて良かったです。
- 実習期間をとおして、真摯に取り組む学生でした。日報には患者さん、地域の方々の生活者の視点での考えも記載され、服薬指導、薬物療法に反映されていました。内容が習慣化している学生でした。実習最後に中学生の職場体験があり、学生が11週間学んできたことを薬剤師志望の中学生に丁寧に伝えることができていました。「卒業時の10の資質：次世代を育てる」を実践できていました。何度か講演会などで話す機会があり、資料準備をし、緊張しながらも地域の健康支援として伝えることができていました。薬局のない業務だけでなく、在宅、学校薬剤師、講演会など多様な場で成長することができ、私たちも楽しくともに学ぶことができました。
- 調剤報酬改定と重なり、その対応もあって大変な時もありましたが、何とか終わることができました。そんなこともあり、関りが少し薄くなった気もしています。
- 非常におとなしい学生だったので、どのように接していくか悩んだ時期もあった。とにかく声を常にかけていくことを心がけた。少しずつ学生の良い面が理解できて、それを伸ばすことが出来たのではないかと思います。
- 実習の流れとして、初日から服薬指導を実践して貰ってます。門前診療科のリウマチ・糖尿・甲状腺・膠原病の病態、薬剤を初期に説明、その後は毎日、服薬指導をして貰いながら知識を増やし、その他の座学を実習ノートを使いながら少しずつ進めています。それが良いのか？どうか？誰に教わったわけでもなく、アドバンスワークショップなどの勉強会の知識のみ。解らないまま、毎回実習が終わる。他の薬局施設ではどのような流れなのか？気になります。座学の割合はどの程度か？服薬指導の割合は？など。うちの強みとしては、近隣グループ薬局で基幹薬局では学べない実習、また山梨県や甲府市薬剤師会の集合研修が充実しているのは、（指導薬剤師の負担軽減の意味でも）とても良いです。今回の実習生ものみ込みが早く、言われたことをきちんと実行する、素直で良い生徒さんでした。
- 実務実習生の受入は非常に久しぶりであり、不慣れな状態ではあったが、薬剤師・事務ともに協力的であり、無事に終わることができた。特に薬剤師の方は週ごとのスケジュールをもとに週ごとに担当者を決めることで負担を軽減できた。自分達の勉強不足、情報収集不足に気づかされたり、基本的な事項の再確認もでき、お互いに有意義であった。
- 積極的で何でも挑戦したいという学生さんだったので、こちらの方もその熱意に押されて11週間走り抜けたという印象です。疑問に思ったことは、物怖じせずすぐに質問するのでこちらでも知識の整理やアップデートにつながり双方にとって学びを深めることができました。自分や協力薬局で面倒を見ていただいた先生方の“薬剤師として在り方・生き方”が伝わり学生さんの目指す薬剤師像の形成に少しでも役立てたら幸いだと感じています。
- 真面目な学生さんで非常にやりやすかったです。
- 来局患者数の減少で投薬回数がこれまでの学生と比較し少なかったが、学生に接する時間を十分に取ることが出来、また、新卒薬剤師が在籍していることもあり互いに意見を交わすなど充実した実習が出来たと思います。

- 在宅訪問に関心のある学生だったので、午前中は外来業務、午後は在宅訪問や配達に行き、出来るだけ多くの多職種連携の場に同席させるよう試みしました。第1週目から服薬指導も行っていましたので、在宅と合わせるとかなり多くの患者さんと関わることができてよかったですと感じます。薬剤師の職能は外来業務だけではないことを体験してもらい、地域に貢献できる職種であり、多職種連携の中の大切な位置づけも身をもって体験できたと思います。実際に将来の薬剤師像も思い描けたと言ってもらい、うれしく感じました。何事もなく、無事に実習を終えられたことに感謝します。
- 今回も実習関連書籍や調剤指針、業務マニュアル等を参考にしてできるだけ最新の情報で指導にあたることを心がけました。今回は、学生さんは、コミュニケーション能力が高い方で実習初期から、職員、患者様ともに良好な関係を築くことができていました。必然的に投薬も、今までの学生さんと比べても数多くの投薬をしていただいたように思います。在宅訪問にも同行していただき、患者様と数多く接していただきました。患者様に寄り添った形で接する姿は、我々と同等であったと思います。むしろ忙しさに追われて、十分に患者様のお話を聞くことができていなかったという不満も聞き出していただき、我々よりもよくできていたように思います。多職種での在宅訪問時の際にも、日誌の考察から他医療従事者とのコミュニケーション不足も気付かされました。真摯に業務を考察していただき、今後の業務を改める良いきっかけになったように思います。行き届かない点も多かったかと思いますが、なんとか実習を終えることができたのも指導薬剤師だけでなくパート・常勤薬剤師に関係なく職員全体で学生に関わった結果だだと思います。今回も普段、意識することのない法令や届出事項、業務のひとつひとつを見直すことができ自分自身の薬局管理・薬剤師業務に対する勉強になりました。
- 無事に実習が終わってホッとしています。真面目に一生懸命取り組んでいました。実習の最後の方では投薬も落ち着いてできており、学生さんの成長がみられてよかったです。
- 初めての受け入れで要領を掴むまでが大変だった。忙しい時間が続くような時に学生を放置しているように思われなにか心配に思うことが多少あった。

## ② 問題点と今後の課題

- 8疾患のかたよりがどうしてもできてしまう事です。実際に服薬指導ができない疾患はロールプレイや座学で補いましたが、今後どうしたらよいかを考えたいです。
- 学生、指導に問題はなかったと思います。
- こちらの指示なしで積極的に動けるように促していればもっと良くなったのではないかなと思う。
- 服薬指導の割合が高いのは良いと感じているが、(実践数が多いと、その分実習生も慣れ、患者との会話もスムーズになった)その後のフォローアップをもう少し時間をかけるべきだったと思う。
- 世代的なギャップにより大学で学んでいる内容が把握しづらかった。特に、先発品の薬剤名を知らないのはやむを得ないが、就職しても必ずしも覚える必要はないと感じ、現在の薬の並べ方を考え直さないといけないと思った。薬剤師としての資質が大切なのは当然だ。社会人になる上での態度なども必要に感じた。
- 全てのカリキュラムを1つの薬局で網羅するのは大変だと思います。それぞれの薬局に特化している面があるので、一薬局完結型よりは様々な薬局で実習ができる方が学生さんにと

っても実りが多いと思いました。

- 癌患者やリウマチ患者が少なかったので他薬局と連携していければと思いました。
- 抗がん剤を服用している方や癌闘病中の患者への服薬指導はありましたが、特別薬剤管理指導加算2の算定対象となる患者はいないため、対象患者がいる薬局の協力があると有難いです。
- 一般用医薬品の販売の実践機会が少なく、ロールプレイが主体となってしまった。無菌調剤室がなく、講義のみで実技は行えなかった。
- 同日に調剤業務を行いながら投薬業務を行うような体系で行いましたが、調剤の処理能力には個人差があり、かつ他科処方の内容の濃い処方箋調剤では、調剤に集中する必要があり、時間がかかり投薬に行く機会を逃していたケースもありました。今後は、調剤と投薬を行う日を分けて行うようにしていきたいと思いました。今回もOTC販売に関して協力薬局に依頼しましたが、次回は自薬局で対応できる体制を整えていきたい。
- 自分以外に学生をみてくれる人を育成する必要があると感じた。実際に何回か受け入れて体験するしかないかもしれないが、スケジュールや手順を作っておく必要があると感じました。

### ③ 問題点・課題の改善点

- 指導薬剤師間で情報提供や情報交換ができる機会があればありがたいです。1週間振り返りの大学教員のコメントが1回も入力されていなかったです。
- 集合研修場所への交通手段について、基本的に指導サイドが用意することを周知していただいたほうがいいかと思います。
- 一人の患者が終わったあと、薬歴をチェックして修正し、終わる流れであり薄かったと感じる。そこで、病態・処方意図・薬理作用の復習など、時間をかけるべきである。そのためには指導薬剤師の知識も、もっともっと増やすべきである。
- ある程度マニュアルに沿って教えることは確実ではあるが、薬局でのオリジナルの症例、課題などもあった方がよいので日ごろから情報収集していく。薬剤師会の研修は有意義であり、情報をフィードバックしてもらえてよかった。交通面の問題はあるが、薬局ごとに対応できているように感じた。大学には地元での実習を学生に勧めてほしいと思う。
- 地域薬剤師会の中で自薬局の得意とする分野を出し合い、エリア全体で学生さんを受け入れることが大切だと思いました。そうすることで、学生さんを通じてエリアの絆も深まると思います。実習前に大学側からシステムの初回ログインIDが送られてこなくて困りました。直前になっても送られてこないの、こちらから問い合わせた大学側が気付き、対応していただきました。大学とのやりとりをもう少し早めにして確認しておくべきだったと反省しました。
- ドラッグストアの一日実習を薬剤師会から調整していただけると助かる。
- 指導にあたり、最新の情報を持つての指導が必要と考え、「薬局実務実習の手引き2018版」を参考にして行おうと思いますが、他にお勧めの書籍等があれば、教えていただきたいです。自薬局で実習困難な内容は地域薬剤師会を通じて地域内で基本的には、対応できま

した。理想は一薬局で完結することでしょうが、人員も不足する薬局が今後も増えてくることが予想されます。地域での協力体制が必要不可欠です。

- 大学の先生とはWebで2回面談がありました。情報交換ができました。成果報告会もWebで参加していただきました。
- 指導薬剤師を増やすことで自身が対応できない場合の指導が出来る人材の育成が必要と感じました。

#### ④ 協力薬局の感想・問題点と改善策

- 協力薬局の先生方には電話をして教えて頂きたいところをしっかりと共有できたと思います。
- 集合研修でも充実した内容であり、将来につながる仲間ができた様子でした。
- 今回は実習期間のあとの方に入ることが多かった印象があります。終わりの方は、成果発表のまとめもあるので、もう少し早い日程でも良いのかなと思いました。
- 協力薬局（グループ薬局他店を指します）には感謝しています。施設をやっている薬局は往診同行の見学、また精神科病院門前は、病棟見学を組んでくれたり、貴重な経験をさせて貰いました。基幹薬局で学べない診療科の門前にも行ってもらいましたが、そこでの薬剤師の教え方は各々に任せましたが、座学で終わるところや、服薬指導をさせてくれるところなど、様々でした。事前に（基幹薬局での実習の流れ、経験させてほしいことなど）打合せをすべきだったと思いました。
- 社内の他店舗に協力をお願いしたところ快く引き受けてくれた。自店舗とは異なる業務もしているので、有意義だった。もともとスタッフが不足気味なので早目に相談し、スケジュールを組んだ方がよいと感じた。
- 話し方も穏やかで人当たりも良く、とても好印象で職員の評判も良かったです。何で物怖じせず、積極的にやってくれる姿も見られました。覚えるのも早く、調剤をたくさん経験してもらいました。
- OTC実習においては連絡も頂き、気持ちよく親切に受け入れて頂き助かります。
- 薬局製剤で漢方薬局、小児の薬で内科小児科の門前薬局に協力していただいた。全く違う形態の薬局に協力いただいたので、とても勉強になったとのことで、よかったと思います。
- 今回も薬局製剤・OTC販売など当薬局で実施不十分な内容を協力薬局の先生方に行っていただき大変感謝しております。在宅など状況によっては、自薬局での対応が難しくなることが考えられるため、今後も地域を越えた協力体制が必要に感じます。
- 当薬局で実施不十分な内容を担当していただきとても助かりました。

# 実習生アンケート

長期実務実習 第Ⅱ期(令和6年5月20日～8月4日) 13施設13名

アンケート提出者:13名

病院実習 未:13 済:0

①今回の実習はあなたのニーズにマッチしましたか？

最低 1	2	中程度 3	4	最高 5
			3	10

未記入:

②指導薬剤師から受けた指導時間についてどうでしたか？

物足りない 1	2	中程度 3	4	充分 5
			2	11

未記入:

③大学での事前学習・講義などと実習での相違点はありましたか？

なし	あり	未記入
7	4	2

④自分で思い描く薬剤師像と実際の薬剤師像とマッチしていましたか？

かけ離れていた 1	2	中程度 3	4	合っていた 5
		3	1	9

⑤今回の実習を終えて、卒後の進路希望について変化はありましたか？

なし	あり	未記入	その他
11	1	1	

⑥主に実習を受けた薬局の指導薬剤師の対応はどうでしたか？

悪かった 1	2	中程度 3	4	良かった 5
				13

⑦今回実習を行った他の薬局等での実習はどうでしたか？

悪かった 1	2	中程度 3	4	良かった 5
		1		12

⑧今回の実習が今後(在学中、卒業後)に役立つと思いますか？

役立つ 1	2	中程度 3	4	役立つ 5
				13

## コメント部分について

③大学での事前学習・講義などと実習での相違点はありましたか？

<あり> 4名

調剤の流れで大学での実習とやり方が多少異なる点があったが講義に相違はなかった。

患者さんが疑問に思うことに大学のロールプレイとはちがった。

OSCEで習った通りの服薬指導を実際の現場ではできないと感じた。

機会化や服薬指導での重点の絞り方、スピード感。

⑤今回の実習を終えて、卒後の進路希望について変化はありましたか？

<あり> 1名

<なし> 11名

病院 ⇒ 未定

薬局 ⇒ 薬局(4) 病院 ⇒ 病院・薬局(2)

⑨今後の実習をより良いものにするためにお聞きます。

・検査センターの見学は非常に楽しかったです。検査センターでの薬剤師の役割についてももう少し詳しく聞けたら良いなと思いました。県庁では、仕事について話を聞いただけではどんなことをしているのか、良くわからないので、実際の仕事風景など動画でもいので見れたらなと思いました。実習地域の勉強会に参加させていただいて、薬について学ぶとても良い機会になったと思うので、もう少し参加したかったなと思いました。

・薬局内での服薬指導だけではなく、在宅や学校薬剤師、がんサロンや他薬局での実習など多くの仕事を体験させていただき、それぞれの場面で薬剤師がどう活躍してどのように患者さんと関わっていくべきか学ぶことができて良かった。また、病気になる前の方々にも様々な情報提供の必要性を知り、資料を作成して伝えていく活動ができて良かった。幅広くたくさんの方の体験をさせていただき、多くのことを学び成長できた貴重な11週間だった。

・患者さんがあまりこない時間帯もあって、ピッキングをする時間がないこともあったが、その時間を使って調剤以外の業務や薬剤師として必要な知識、心がまえを学ぶことができた。毎日の処方せん受付枚数が多く、幅広い疾患に関わることができたので、とても充実した実習になった。

・集合研修がある点は良かった。甲府市の場合はほぼ毎月あったのでそこでどういうことをしているかなど話すことができた。薬局実習は良くも悪くも1人なので1週間に1回同じ境遇の人と話せるのに大きかった。

・様々な店舗での実習や市や県の薬剤師会での研修で、実習先で習うことが厳しい内容について学ぶことができてよかった。また、コロナ禍でサークル等が制限されており、他大学の人と関わるのがなかったのも、他大学の人と関わるのができてよかった。悪い点は特にありません。11習慣があつという間に感じるほど充実したものになったのは、指導薬剤師をはじめとする教えてくださった皆様方のおかげだと思っているので感謝の気持ちでいっぱいです。

・在宅や施設にも伺って、薬局薬剤師ならではの体験ができたことが良かった。免許を持っていない人や持っても車やバイク等を持っていない人は公共交通機関がない地域は通うことが難しいと感じた。

・色々な薬局に行かせてもらい、違った雰囲気の中で学ぶことができて楽しかったです。調剤業務だけでなく、学校薬剤師や行政の仕事を見ることができ、視点が広がりました。集合研修では県内の実習生と交流することができて楽しかったです。

・薬局では、投薬の機会を積極的に与えてくださり、患者さんと多くコミュニケーションをとるという経験ができてよかったです。また、他の薬局でも実習させていただき、色々と勉強になりました。山梨で活躍されている多くの薬剤師さんに出会い、お話を聞くことができたというのがよかったです。また、集合研修では山梨出身で薬剤師を目指す同期に出会えたことが嬉しかったです。ただ、短い時間だったので全員と話をするのができなかったのは少し残念でした。せっかく出会えたので、もう少し自己紹介する時間があればよかったなと思います。

複数医療機関を受診して来局されている方が多く、患者さんの全体を見て併用薬や体調変化を見ていくことができた。自分が考えていた以上に、薬局薬剤師が職能を発揮できることが知れて良かった。薬局、病院以外での活躍の場があることを学び、学校や施設との連携を見学・体験することができ、有難かった。

・薬局内での薬剤師業務の他に多くの在宅訪問に同行させてもらったことで、吸収できたことがたくさんあったり、他の職種の方々との関わりをもつことができた。薬剤師や患者様だけでなく、チーム医療の中で働く一員として、多職種の連携をもてたことが学びを深める良いきっかけになった。

・先生には親身になってご丁寧に教えていただき、薬局業務を一から学ぶことができました。また、薬の作用機序、副作用、禁忌など業務を通じてその都度教えていただいたことで、薬に関する知識をより得ることができたと思います。ありがとうございました。

・このような貴重な体験を山梨県でできたことが大変ありがたかったです。私に合わせた指導やコミュニケーションも、学習に集中できた要因だと感じます。学校薬剤師の業務など、評価で必要な項目のうち調整などが必要なものは、予め知らせていただけると助かると思います。

・あまり座学をせずに、実際の薬剤師と同じように動くことで現場を学ぶことができたと思うため、それは良かったと思う。実習がはじまってすぐのところ、1人でポツンといることが多く、何も学ぶことのできない日が続いたためもう少し具体的にどんなことをするのが良いか、実習マニュアルがあるとお互いにやりやすいだろうと感じた。